

私が小学四年生の十月に父が亡くなった。もう今年で五年が経った。父が亡くなった原因は進行がんによるもので誰にも想像がつかなかった。父が亡くなる三日前に父は、私に悲しい表情をしながら「もーも、誕生日祝ってあげられなくてごめんね。」と言った。私は父の腕に数え切れないほどのチューブがまとわりつくのを見ながらただ、頷くことしか出来なかった。父が亡くなりバタバタとした日常が始まった。私は今起きている現実が信じられず一カ月は放心状態だった。そんな私に母は、笑顔で「大丈夫、何とかなるよ」と励ましの言葉をかけたが、私は母の瞳の奥にある悲しみや苦しさという感情が伝わってきて逆に泣きたくなった。私は現在、公民の授業で税について学んでいる。税の仕組みはなかなか難しいため、高校生の兄に税について聞いてみた。「税って本当難しい。自分たちの生活は多くの税金によって支えられているからしっかり学んで感謝しないと。」そう言って兄は、私に動画を勧めた。「ご案内します アナザーワールドへ」というタイトルの動画では、世の中から税がなくなったら…というもしもの世界が描かれていた。道路は整備されることなく穴だらけ。警察や消防車を呼ぶのもすべて有料。急ぐ場合は高額だったりする。全員が学校に通えるわけではなく、日中から働く子もいる。私達が当たり前だと思って安心して暮らせる毎日がその世界にはなかった。その夜、母に動画での話をすると、税によって支えられている今の暮らしについて詳しく話してくれた。父が入院していたときの入院費や手術費は、健康保険のおかげでほとんど賄われ、莫大なお金を払わずにすみ、現在の子供医療費助成制度では中学三年生までが対象で医療費が免除され母は、とても助かっているといていた。来年から私は高校生になり、高校に通う。自分の目指す夢に向かい、勉強に専念できるという恵まれた環境に感謝しなければならない。国民の納める税金は私たちの暮らしを支える大きな柱となっていると実感した。今の私は、税によって支えられる側にいるが、社会人になったらしっかりと働き、税金を納め、日本の社会に貢献できる大人になりたい。皆が安心して暮らせるより良い社会のために税は必要である。この動画を見て税についての重要性を知る機会をくれた兄に感謝している。